



赤ちゃんもママも “にこっと”できる瞬間があるように

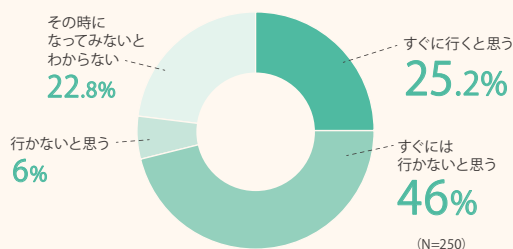
災害大国といわれる日本では、毎年のように大きな自然災害が発生し、多くのかたが避難を余儀なくされています。その中でも乳児連れの避難は想像以上に厳しく、避難所に行くことをためらってしまう現実があります。非日常の大変な環境の中で赤ちゃん、ママ、パパはもちろん、周囲のかたが少しでも穏やかに過ごせるように、ベビー用品総合メーカーのコンビとして製品に願いを込め、災害時の親子支援のお手伝いを進めています。

避難指示発令後、**すぐに避難所に行かない親子は52%もいます**

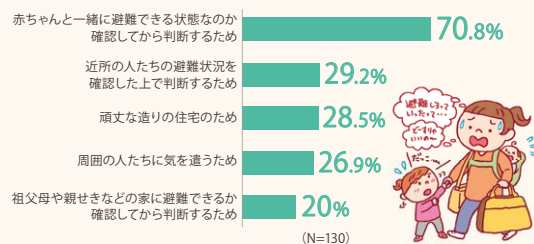
聞いてみました！ママやパパの避難所への気持ち

2022年2月実施のコンビ(株)避難場所の意識調査アンケート 末子0ヵ月～1歳までのお子さまをお持ちの方(回答者250名)より

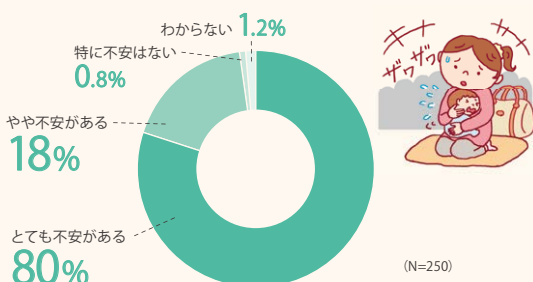
Q1 避難指示が発令された場合、すぐに赤ちゃんを避難所に行きますか。



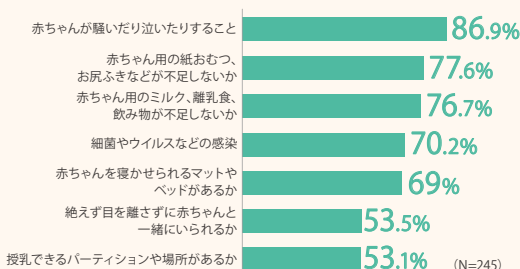
Q2 Q1を選択した理由を教えてください。(上位5位)



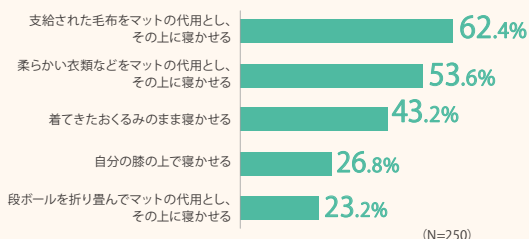
Q3 避難所で赤ちゃんを過ごすことに対して不安はありますか。(災害情報に関する不安は除きます)



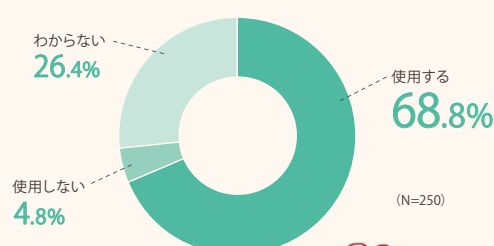
Q4 赤ちゃんを連れて避難所で過ごす場合、どのような不安がありますか。(複数回答、上位7位)



Q5 避難所で赤ちゃんの寝る場所を、どのように準備しますか。(複数回答、上位5位)



Q6 乳児用簡易ベッドが置いてある場合使用しますか。(お子さまが対象月齢を過ぎている場合は、0～6ヵ月のお子様がいると想定してください)



避難所で過ごす際は、**毛布や衣類に赤ちゃんを寝かせるかたが多いようです。**
また、**乳児用のベッドがあれば約70%のかたが使用する**と回答しました。



避難所や施設の緊急対策備蓄品として 囲まれた空間で、赤ちゃんの安眠を確保します。



専門家の視点



危機管理教育研究所 代表
危機管理アドバイザー
国崎 信江様

赤ちゃんがぐっすり寝られるコットがあれば 避難所での負担も軽減されるでしょう

大人用の段ボールベッドはあるのになぜ赤ちゃん用がないのだろう。被災地の避難所で、赤ちゃんが暗闇の中で間違っ
踏まれないように抱き続けて疲れ果てているママを見て感じたことです。コンビウイズのひなん所用コットは、ベビー用品
メーカーのノウハウを活かして研究開発を重ねて作られた信頼のおける製品です。ママやパパにとって、赤ちゃんがぐっすり
寝られるコットがあれば避難所での負担も大きく軽減されるでしょう。

防災備蓄品 段ボール製コット ※2

Combi ひなん所用コットHB11 ベビーにこっと(3個入)

HB11

- 赤ちゃんの頭部を覆う幌は明るく高さのあるドーム形状で、照明が直接視界に入らず、ほこりや粉じんを避ける折りたたみ式
- 周囲のかたに赤ちゃんの存在をアピールするピクトと蓄光テープ
- 強度と通気性を考慮した内部構造。湿気が多い時期は、通気孔を開け、通気を促します

※2 コットは赤ちゃんを寝かせるための小さなベッドです。

● 使用対象月齢：生後0ヵ月～6ヵ月くらいまで（使用可能体重：11kg以下） ※3 ●

品 番	製品名	外形寸法(mm)	質量(kg)	材質	価格
HB11	Combi ひなん所用コットHB11 ベビーにこっと(3個入)	本体[機あり](1個):W477×D814×H610 外箱(3個入):W485×D843×H240	1個:2.3 外箱(3個入):8.3	本体/段ボール パッド/ポリエステル 幌/ポリプロピレン	¥45,000(+税) (送料別)
使用期間の目安		使用開始から1ヵ月以内 ※4	保管期間	製造日より5年間	

※3 つかまり立ちできるお子さまは使用できません。 ※4 避難所での短期使用を目的とした段ボール製のため、ご家庭での日常的なご使用はお控えください。

特許出願中

意匠登録済

